

「この冊子は 2021 年度日本郵便年賀寄付金の助成を受けて作製しました。」



日本郵便 年賀寄付金

2021 年(令和 3 年)

# 年次報告

## 子どもの状況

2020 年 チャイルドラインとちぎのデータから



(認定)NPO法人

チャイルドラインとちぎ

# はじめに

今年も、チャイルドラインとちぎの年次報告をお届けいたします。私たちのところに届いた子どもの声の件数や、内容などをまとめ、分析したものです。社会を写す子どもの声から多くのことが見えてまいります。

昨年から、世界中が新型コロナ禍によって、振り回され、私たちの生活は一変しました。その脅威は子どもたちにも計り知れない影響を及ぼしています。

感染症拡大防止のため学校休校の措置が取られた時期が、昨年はちょうど進級、進学、卒業と重なりました。子どもたちは、思い出を作るはずの大切な時期に友だちや先生と突然会えなくなってしまったのです。卒業式も中止が相次ぎ、進学、就職にも大きな影響がひろがり、戸惑いと不安を隠せない子どもたちの訴えが続々と届きました。おとなの社会も見えないウイルスとの闘いに振り回され、経済の沈滞など様々な困難に見舞われました。親子で家に閉じ込められ、生活の不安を抱えている状態は、子どもたちにも大きなストレスがかかりました。

そして、現段階でも収束までの道は遠く感じられます。警察庁の自殺統計では、2020年は自殺者が2万919人、(対前年比3.7%増)特に女性と若年層での増加が報じられました。小中高生に限りすると479人と過去最多となりました。子どもの命を何より大切にしたいチャイルドラインにとって由々しき事態となっております。

しかしながらチャイルドラインとちぎ自体もウイルスとの闘いで様々な事業を自粛せざるを得ませんでした。

なんとか、私どもの電話、チャット事業は継続できておりますが、細心の注意を払いつつの開局で、やはり参加できない会員も増えました。

あまり明るい状況ではありませんでしたが、おかげさまでチャイルドラインとちぎは20周年を迎えました。20年前から今につながる活動の本質は決して変わることはありません。今日も届く子どもたちの声に寄り添い、それをいかに社会発信していくか。私たちの活動が、子どもの権利条約がきちんと全うされ、SDGsが目指すところの誰一人取り残さない持続可能な開発目標につながるよう、そのために進むチャイルドラインとちぎでありたいと考えております。

地域社会に信頼され、より良い方向に進む団体たるべく、努力を重ねる所存でございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(認定) 特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ  
理事長 松江 比佐子

# I

## チャイルドラインとちぎが受けた電話

2020年1月～12月

本報告書は、全国統一フリーダイヤルで他県の実施団体と連携して電話を受けているため、「Ⅰ. チャイルドラインとちぎが受けた電話」と「Ⅱ. チャイルドラインとちぎがオンラインで受けた子どもの声」「Ⅲ. 栃木県の子どもがフリーダイヤルにかけた電話」「Ⅳ.子どもの声から」に分けて作成しました。

栃木県内からの電話は優先的に「チャイルドラインとちぎ」に着信しますが、話し中の場合は、全国どこかのチャイルドラインにつながるようになっています。

## 電話開設状況

○実施日 2020年1月～12月  
 毎週月曜日・金曜日・第2日曜日・第3土曜日  
 16:00～21:00を3シフト制で実施

○人 数 受け手 57人 年間延べ 885人  
 支え手 16人

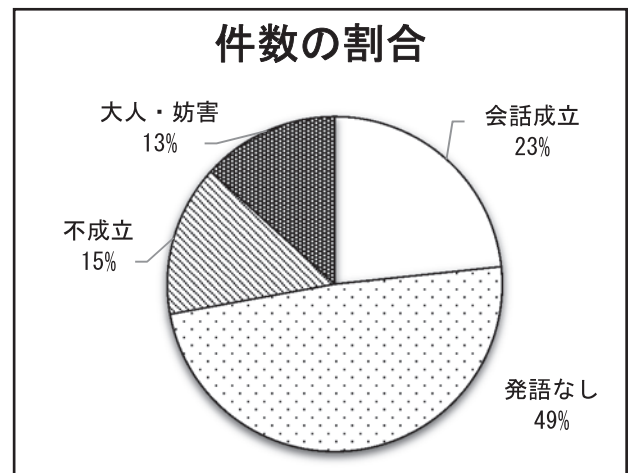
○開 設 年間日数 127日  
 開設時間 635時間 (2回線)  
 年間件数 6,436件(通話1,732件) ※大人・妨害を除く

1時間平均約10件(通話3件)  
 1件あたりの平均通話時間21分

### 1. 通話の概要

総着信件数 7,421件(大人・妨害を含む)

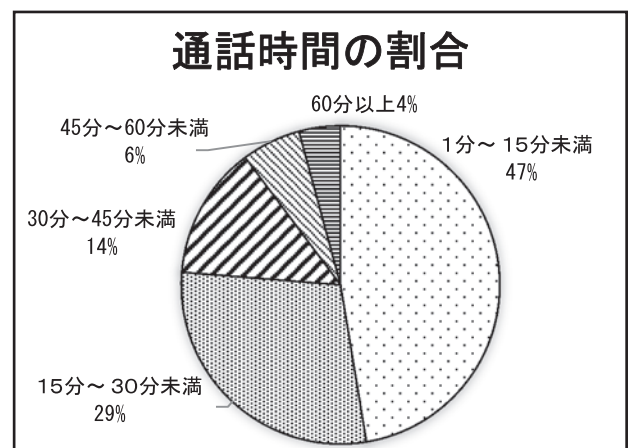
	件数	通話(分)	平均通話	件数の割合
会話成立	1,732	36,422	21.0分	23%
発語なし	3,620	2,123	0.6分	49%
不成立	1,084	2,687	2.5分	15%
大人・妨害	985	4,455	4.5分	13%
全体	7,421	45,687	7.2分	100%



### 2. 通話時間(会話成立)

会話成立のうち通話時間では1分～15分未満は47%でした。約半数の電話が15分以上の通話時間になります。

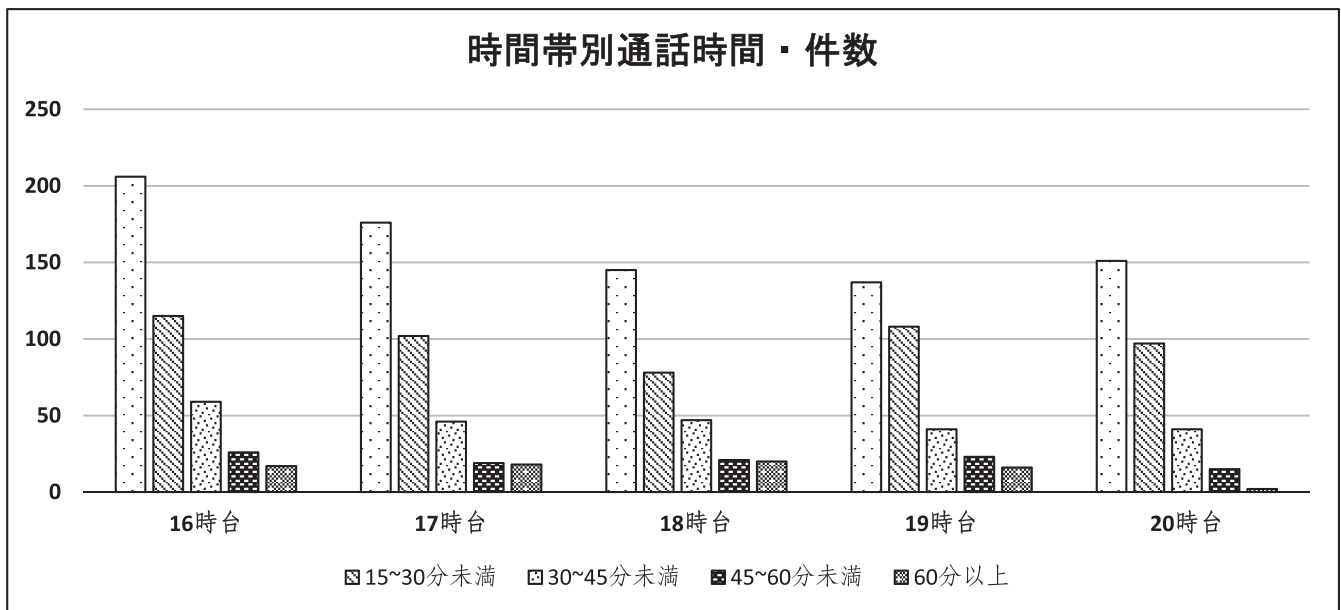
通話時間	件数
1分～15分未満	821
15分～30分未満	500
30分～45分未満	234
45分～60分未満	104
60分以上	73
合計	1,732



### 3. どの時間帯にかけられているか

開局を待ちかねるように16時台の電話が最も多く、20時を過ぎると少なくなります。平均通話時間は19分から22分と時間帯によってあまり差がない傾向にあります。

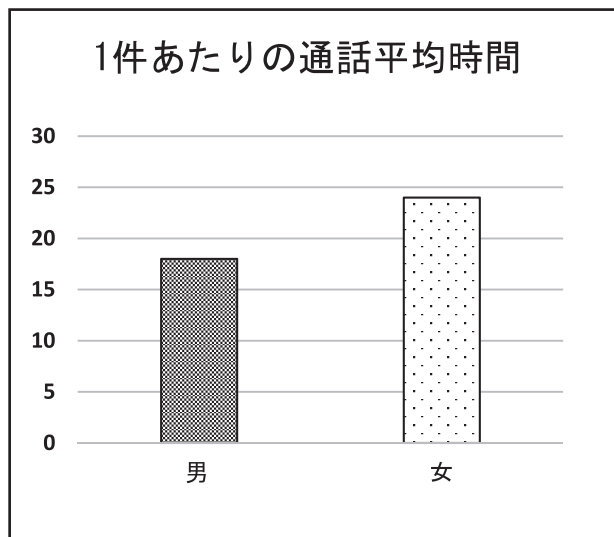
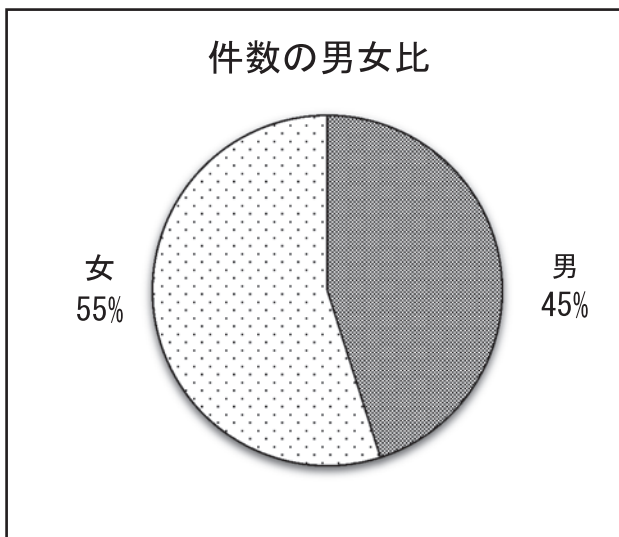
時間帯	通話件数	時間(分)	通話平均(分)
16時台	424	8,702	20
17時台	362	7,619	21
18時台	314	7,191	22
19時台	325	7,161	22
20時台	307	5,749	19
合計	1,732	36,422	21



## 4. 性別、学齢

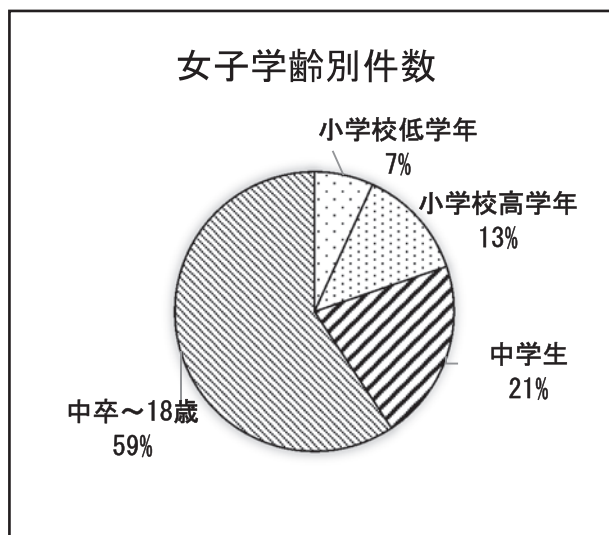
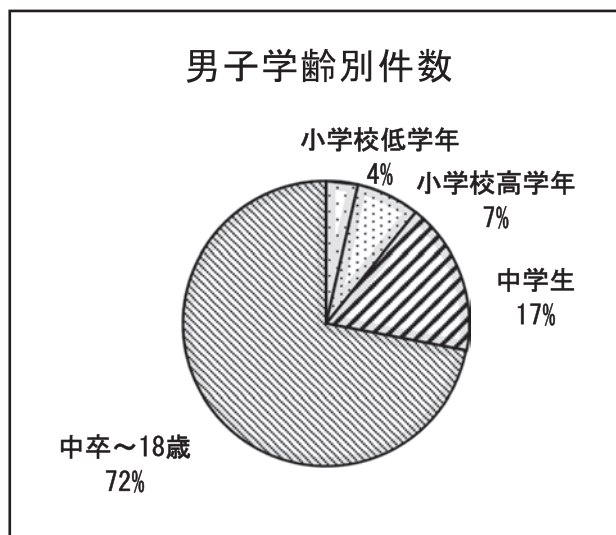
### (1) 通話時間・件数の男女比

かけ手の性別をみると男子が45%、女子が55%で女子が多くかけられています。1件あたりの通話時間の平均についても女子のほうが長く話されています。



### (2) 学齢別件数の男女比

かけてきた子どもの学齢では、中学卒業から18歳までの割合が高く、特に男子は高校生の学齢が72%を占めています。



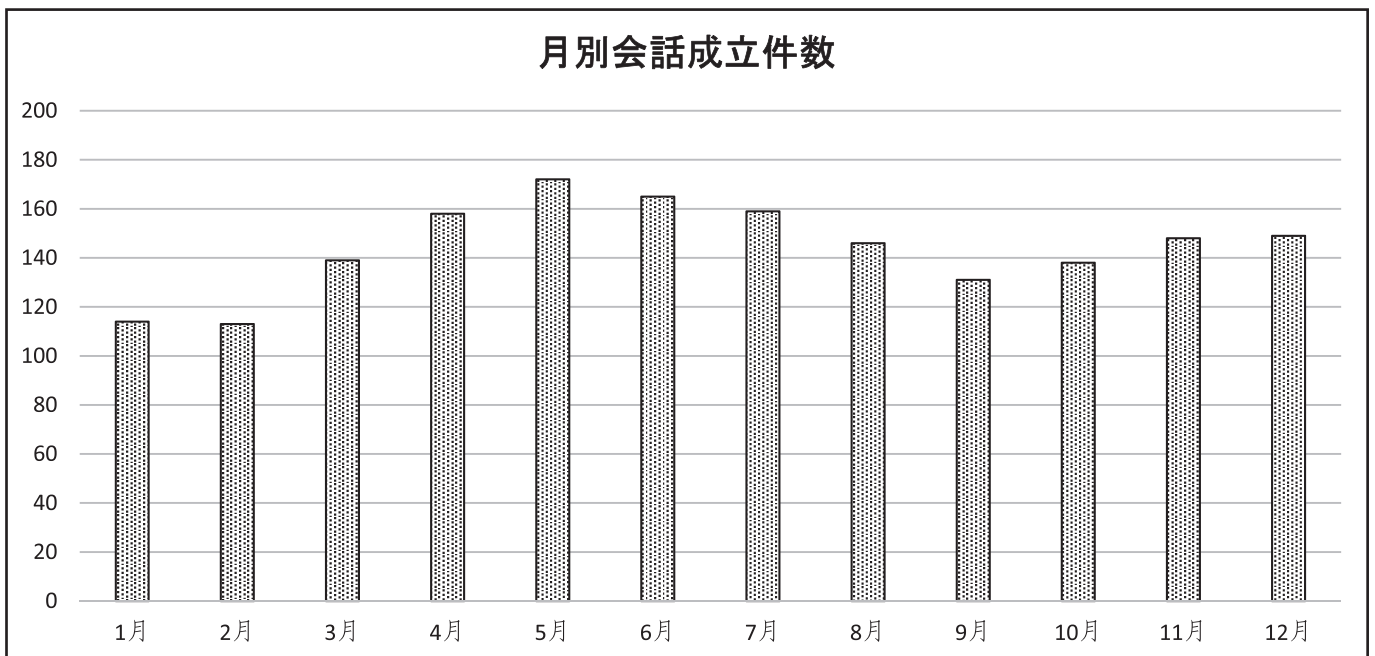
## 5. 月別件数と通話時間の推移

無言や一言などの会話不成立などを除き、月平均の会話成立件数は144件です。年間635時間開設しており、1時間あたりの平均通話件数は約3件です。

1件あたりの平均通話時間は約21分です。開設時間1時間あたりの平均通話時間は57分になります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
会話成立	114	113	139	158	172	165	159	146	131	138	148	149	1,732
不成立	160	218	388	381	373	278	360	343	282	318	246	273	3,620
無言	72	65	99	104	113	114	75	107	89	86	81	79	1,084
大人(妨害)	55	71	87	96	99	78	86	68	72	110	78	85	985
総着信	401	467	713	739	757	635	680	664	574	652	553	586	7,421

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
通話時間	48	43	42	53	61	57	59	47	48	48	53	41	607
開設時間	50	50	55	50	55	55	55	55	50	55	55	50	635



3月から7月にかけて通話件数が多くなっています。緊急事態宣言や学校の休校が影響していると思われます。

## 6. どんな内容の電話か

男女別主訴別通話件数

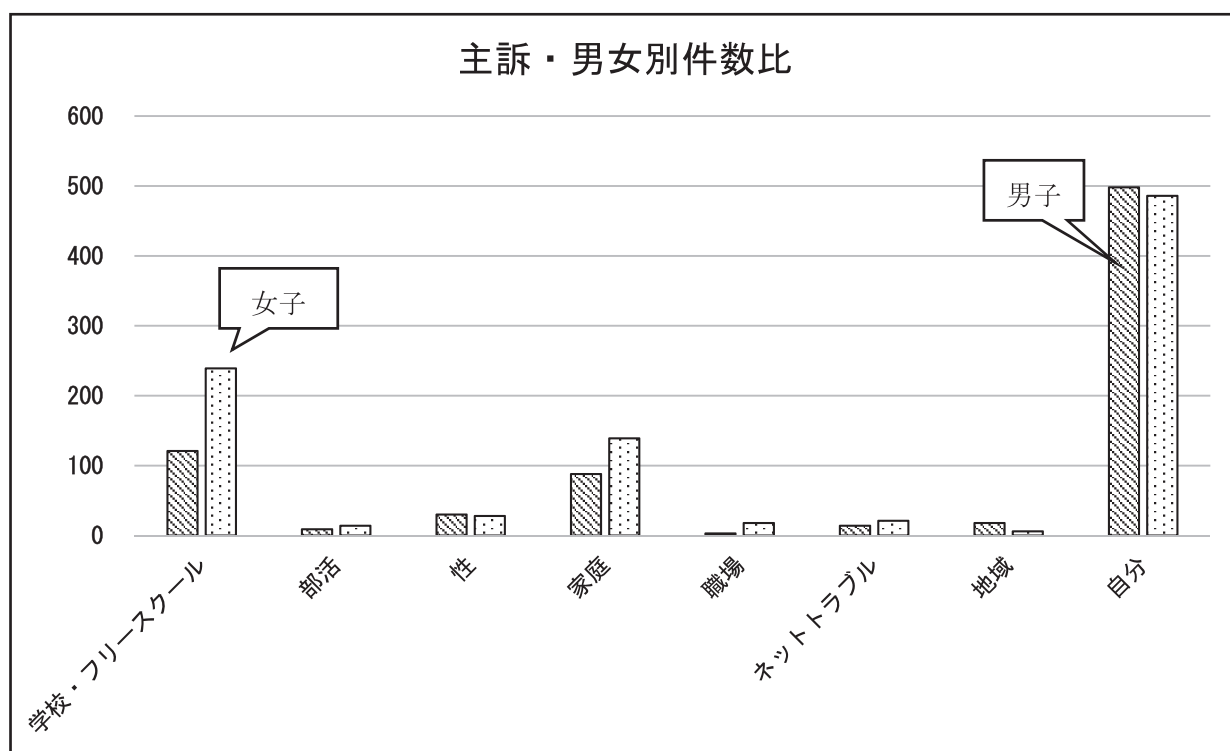
	学 校 フリースク ール	部 活	性	家 庭	職 場	ネット トラブル	地 域	自 分	合 計
男	121	9	30	88	3	14	18	498	781
女	239	14	28	139	18	21	6	486	951
合計	360	23	58	227	21	35	24	984	1,732

男女別主訴別時間(分)

	学 校 フリースク ール	部 活	性	家 庭	職 場	ネット トラブル	地 域	自 分	合 計
男	1953	210	649	1,775	32	262	285	8530	13,696
女	5088	302	456	3,576	442	403	143	12,316	22,726
合計	7041	512	1,105	5,351	474	665	428	20,846	36,422

### (1) 主訴別・男女別件数と通話時間

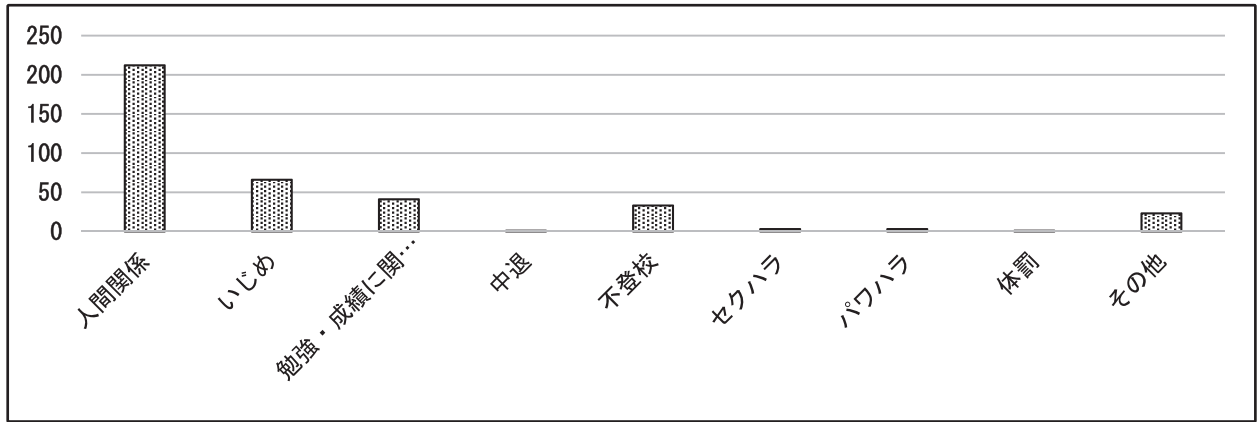
男女ともに「自分」に関する内面の悩みが多い傾向にあり、続いて「学校」での悩みとなっています。「家庭」に関しては、コロナ禍で家にいる時間が長くなったことにより、家庭内の人間関係に悩んでいる姿が見えてきます。



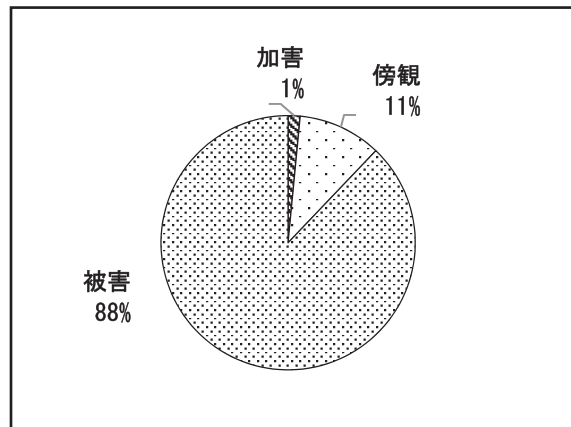


(2) 訴別・詳細

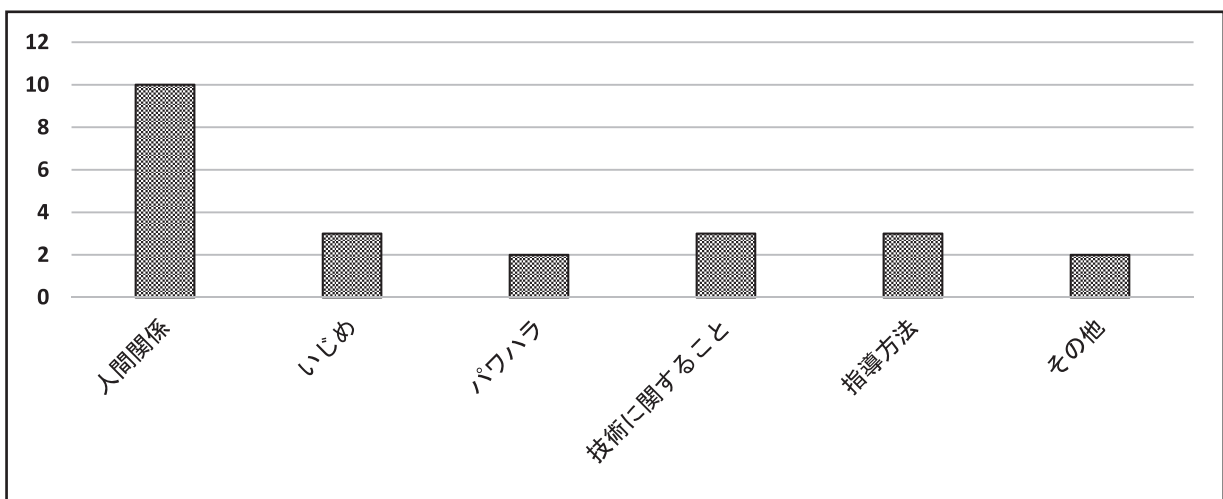
① 学校・フリースクールでのこと



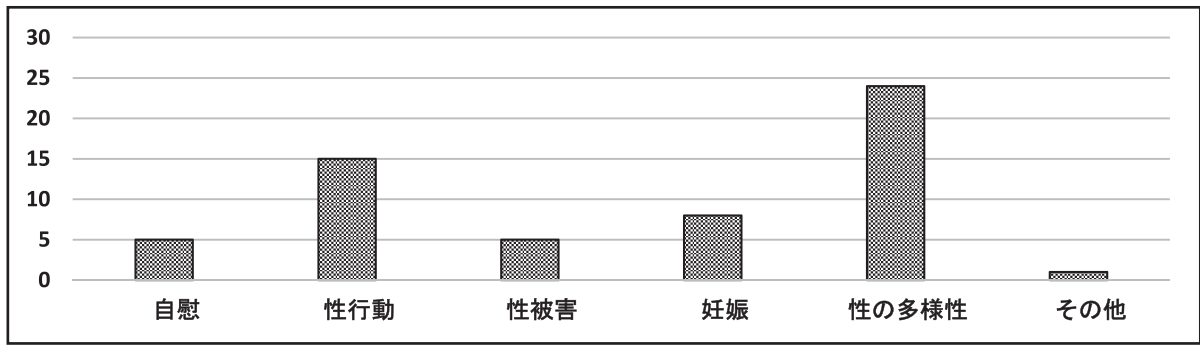
※学校・フリースクールでのいじめに関して



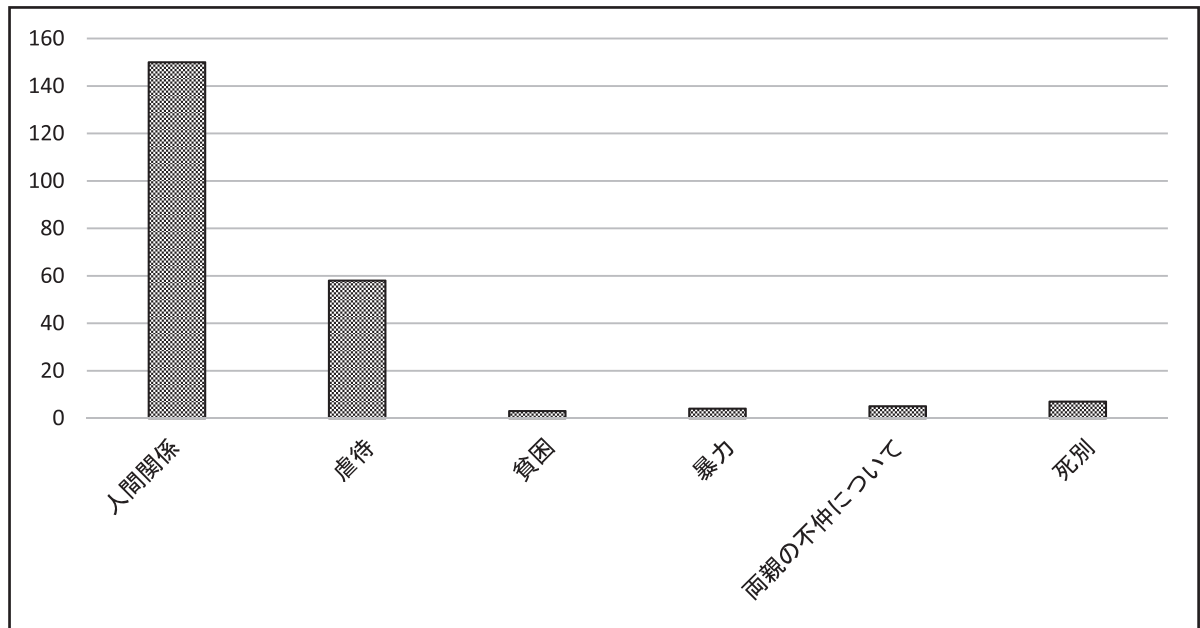
② 部活でのこと



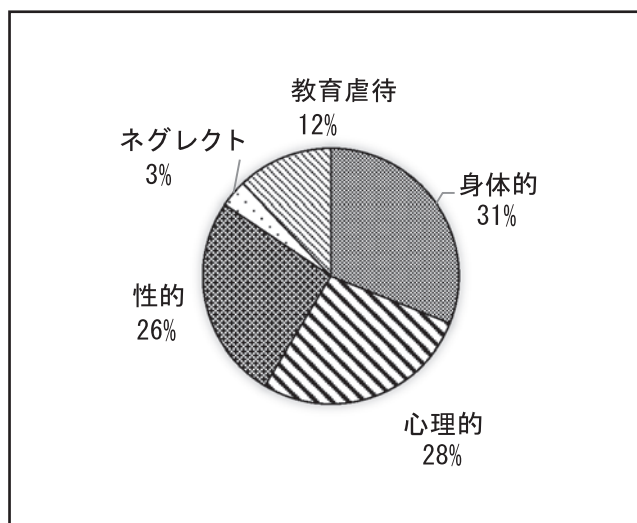
③性に関すること



④家庭でのこと



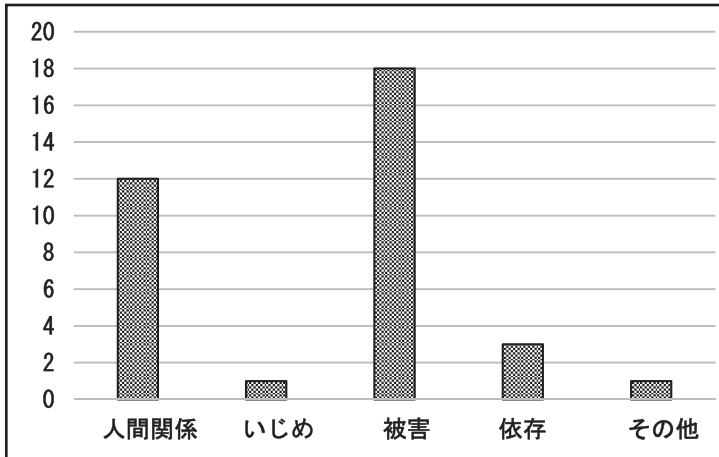
※家庭での虐待に関して



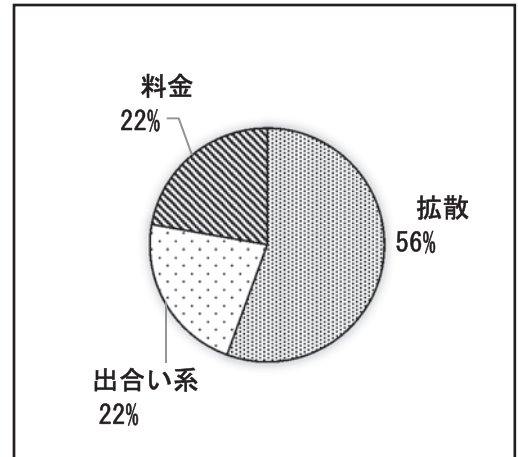
※虐待の関係性(誰とのことか)

関係性	件数
実父	21
実母	29
養父	3
きょうだい	1
祖父	2
祖母	1
自分自身のこと	1
合計	58

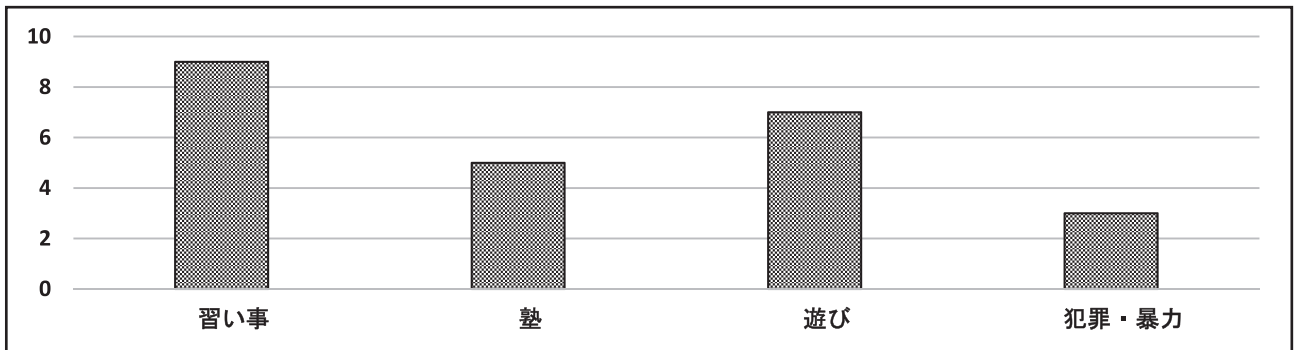
⑤ ネットトラブルに関すること



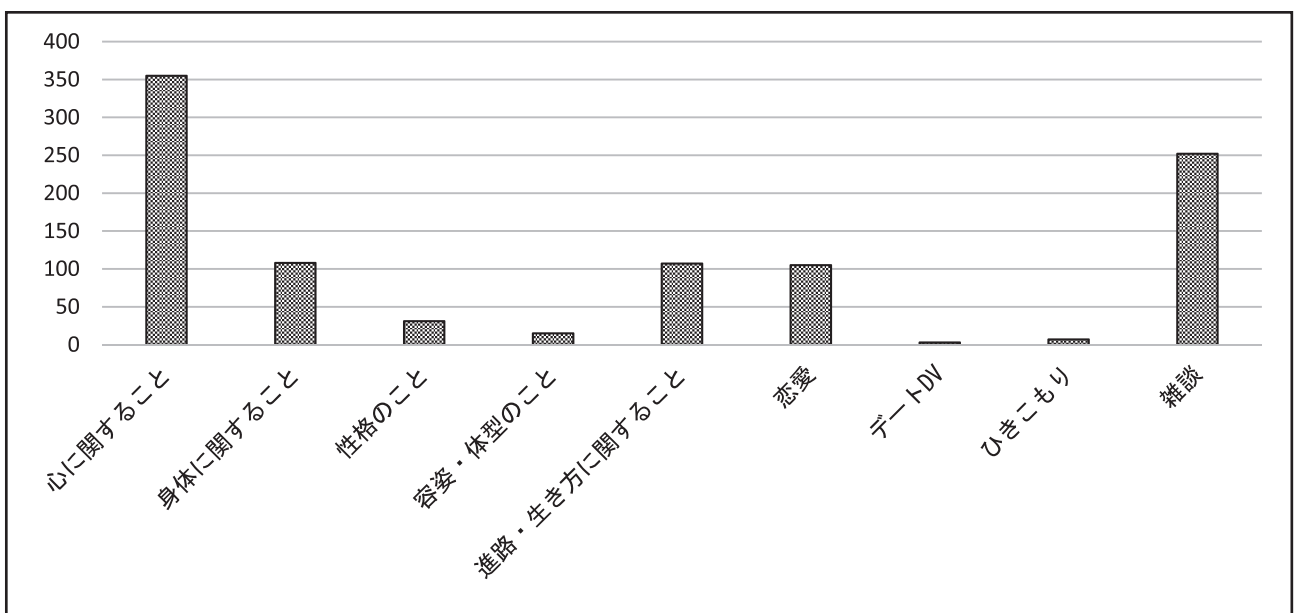
※ ネットトラブル被害 (内訳)



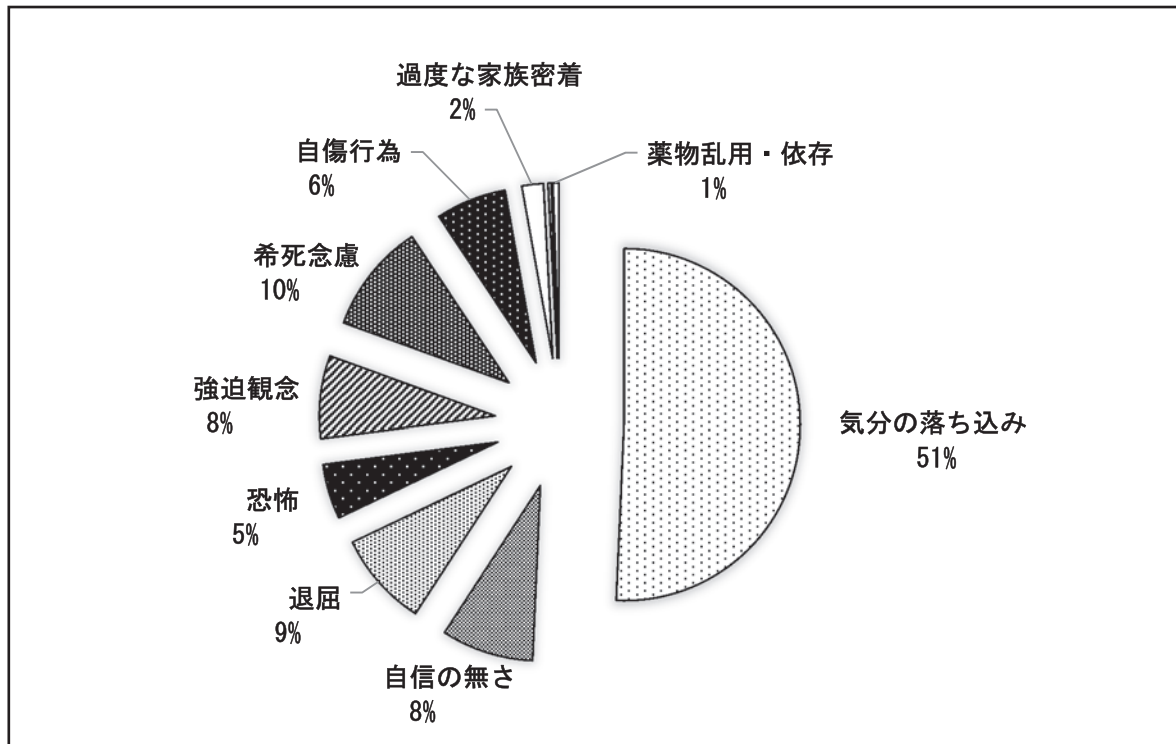
⑥ 地域でのこと



⑦ 自分のこと



※自分のことで心に関すること



7. 動機・関係性・気持ち

①電話をかけた動機

(1)電話をかけた動機をみると、自分のありのままを受けとめてほしい、否定しないで聴いてほしいという気持ちの表れとして「聴いてほしい」が8割近くを占めます。子どもたちは人に話を聞いてもらうことで自分の気持ちに気づいたり、考えを整理したりすることができます。助言を求めているような電話でも、じっくりと寄り添って話を聴くうちに子どもたちは自分の中に答えを持っていることに気づきます。「誰かとつながってほしい」「お試し」には、話し相手のいない子どもたちの寂しさが伝わってきます。

	話を聴いてほしい	答えが欲しい	繋がってほしい	お試し	社会資源情報	実際に動いて欲しい	チャイルドラインについて	合計
未就学	1	0	0	0	0	0	0	1
小学低	62	22	1	7	0	0	0	92
小学高	139	29	4	6	0	1	0	179
中学生	239	58	26	8	1	2	0	334
～18歳	889	131	90	9	1	0	6	1,126
合計	1,330	240	121	30	2	3	6	1,732

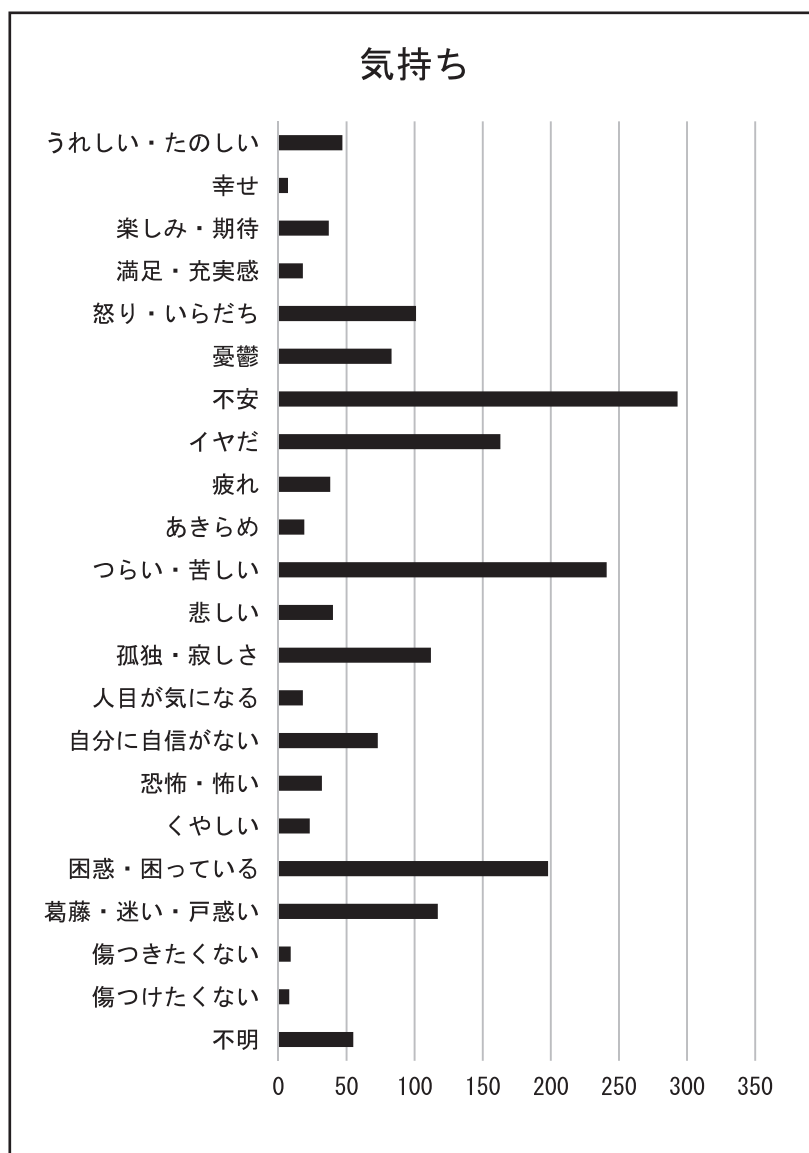
(2) 誰との関係なのかでは、「自分自身」のことにについて内面的な悩みが多く、次いで「友人関係」の中での悩みが多くなっています。家庭の中での「実母」との関係の中では実母からの虐待の件数 29 件が含まれています。(実父からの虐待は 21 件)

(3) どんな気持ちでかけたのかは、「不安」があってかけてくることが多いと感じます。電話の受け手が「困っている」電話と感じ、解決をサポートすることも多い中で、現状を「つらい・苦しい」「イヤだ」と感じ「孤独」や「怒りや苛立ち」「葛藤・迷い・戸惑い」を表わす子どもが多くいます。慎重に寄り添いながら子どもの気持ちを聴いています。

## ②誰との関係なのか

関係性	件数
友人・知人	222
恋人	1
先輩・後輩	11
同僚	5
実父	37
実母	119
養父	5
養母	3
きょうだい	26
義理のきょうだい	1
祖父	4
祖母	4
先生	45
顧問・指導者	7
近所の人	1
施設職員	1
知らない人	8
自分自身のこと	1,232
合計	1,732

## ③どんな気持ちでかけたのか



# II

## オンラインで子どもの声を聴く

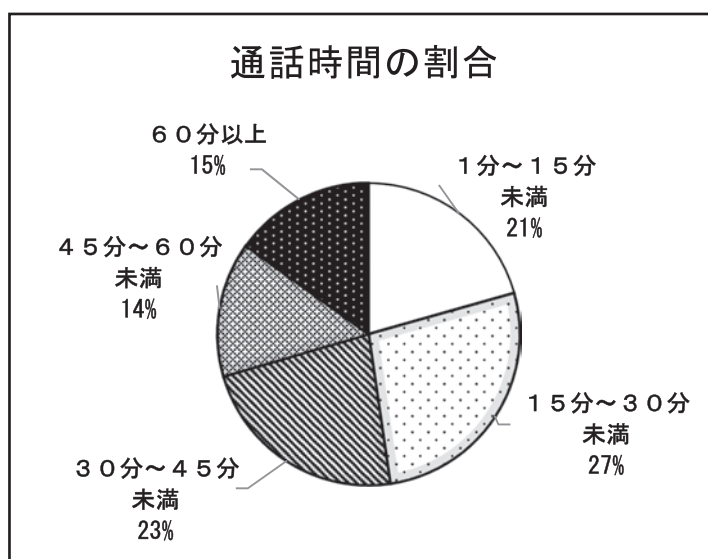
※ チャイルドラインとちぎが受けたデータから

・実施日	2020年	1月～12月	月2回	第1・第3木曜日
				16:00～21:00を2シフト制で実施
・人数	受け手	22人	支え手	9人
・開設	開設日数	25日	開設時間	125時間
	件数	325件	(会話成立)	322件
	通信時間	197時間(2台～3台のPC)(会話成立196時間)1件平均45分		

### 1. 通話(通信)時間

30分以上の通信が多く、1時間を超える場合もあり電話との違いが明確です。

通信時間	件数
1分～15分未満	67
15分～30分未満	88
30分～45分未満	74
45分～60分未満	47
60分以上	49
合計	325

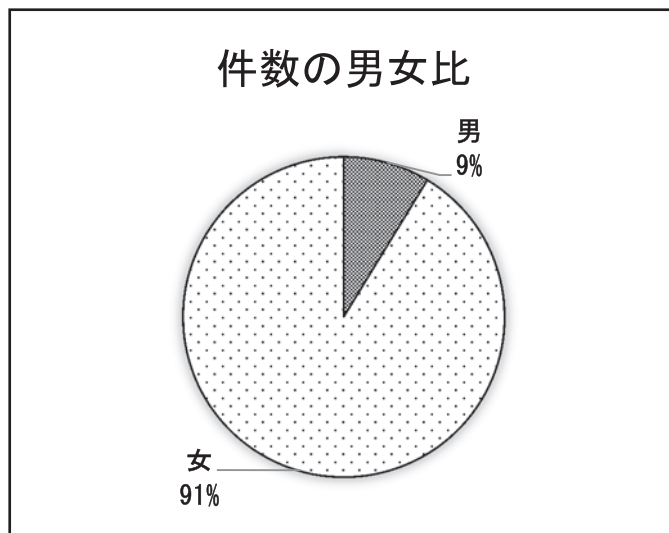


## 2. 性別、学齢

### (1) 通信時間・件数の男女比

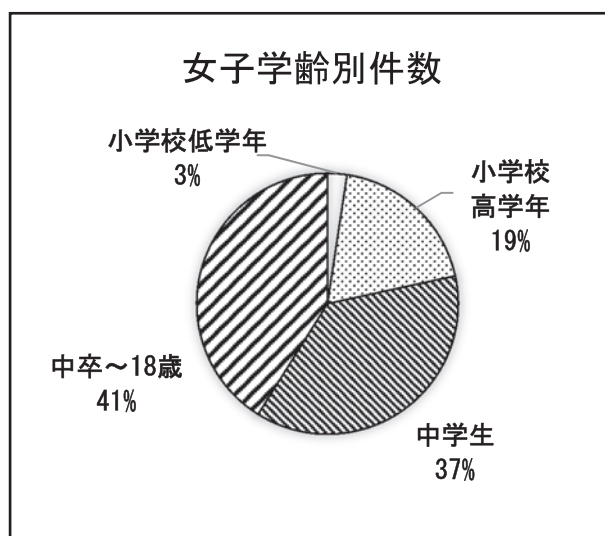
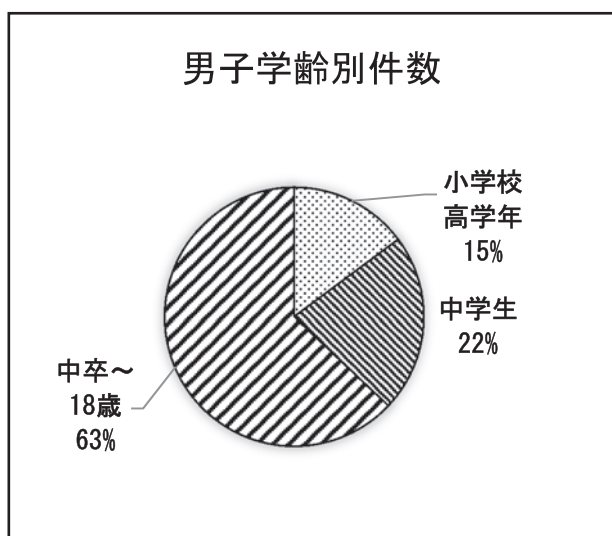
性別をみると 91%と圧倒的に女子が多い反面、平均通話時間は男子の方がやや長くなっています。

性別	件数	通話時間	平均通話時間
男	28	1,202	43
女	294	10,570	36
不明	3	53	17
合計	325	11,825	36



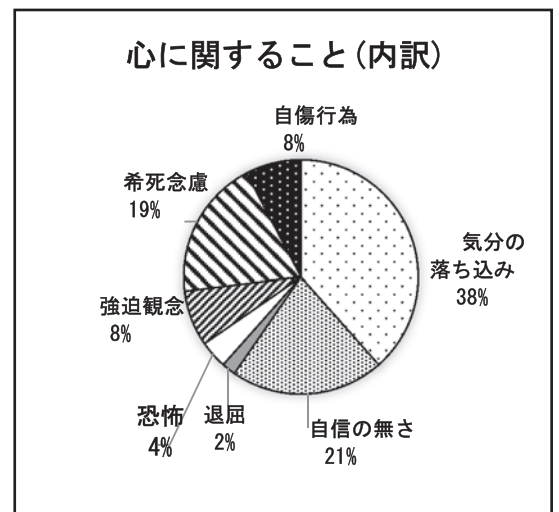
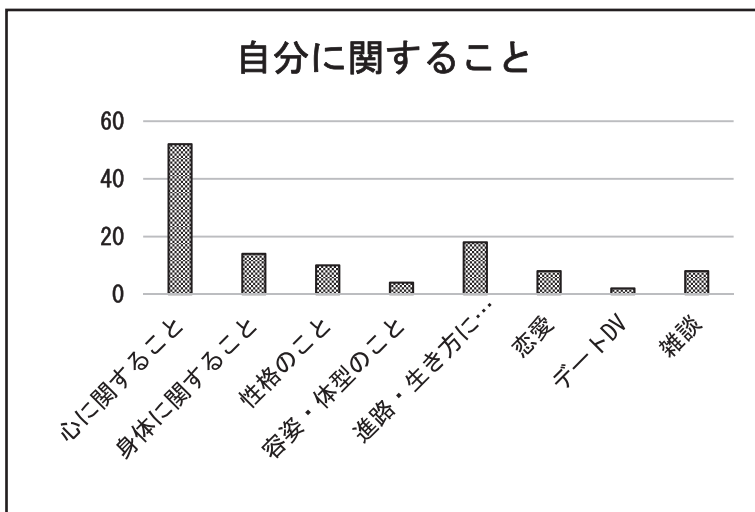
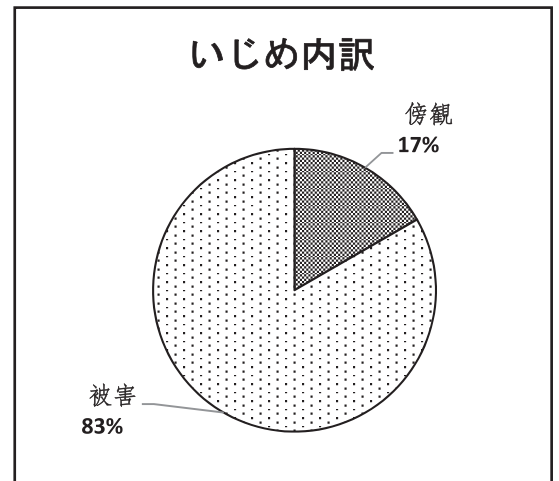
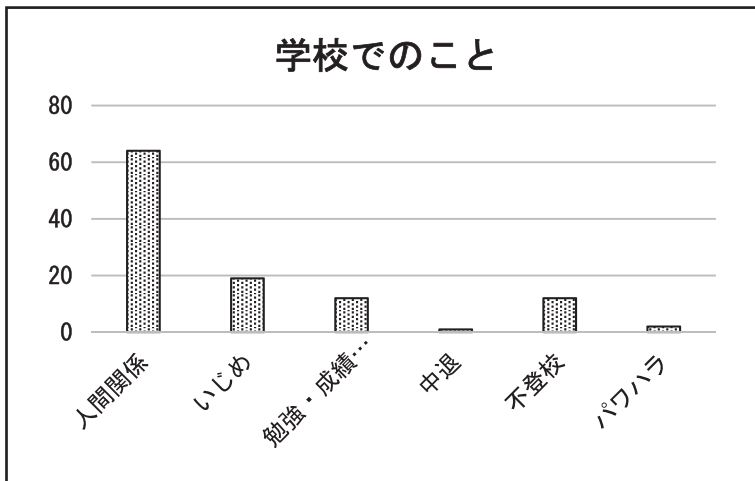
### (2) 学齢別件数の男女比

かけてきた子どもの学齢では、男子は高校生、次いで中学生の割合が高くなっています。女子は中学生と高校生が同じくらいの割合になっています。小学校高学年の子どもたちもスマホやPCといったツールを使って相談してきます。



件数	学校・ フリースクール	部活	性	家庭	職場	ネット トラブル	地域	自分	合計
男	8	0	3	2	0	3	0	11	27
女	102	15	15	47	1	6	4	102	292
不明	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	110	15	18	49	1	9	4	116	322

時間(分)	学校・ フリースクール	部活	性	家庭	職場	ネット トラブル	地域	自分	合計
男	340	0	61	81	0	71	0	597	1,150
女	3,729	463	556	1,690	46	92	123	3,865	10,564
不明	0	0	0	0	0	0	0	53	53
合計	4,069	463	617	1,771	46	163	123	4,515	11,767





# III

## 栃木県の子どもがかけた電話

2020年1月～12月

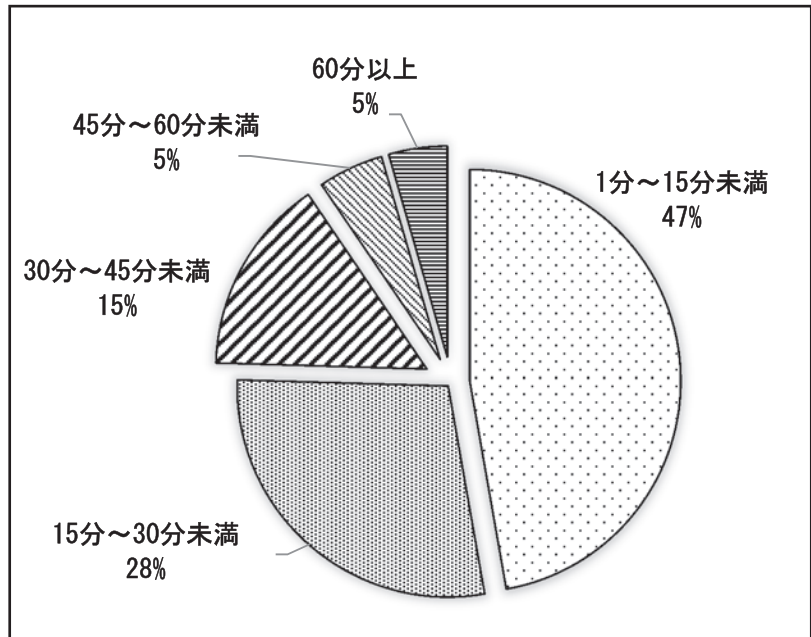
(他県の実施団体が受けた電話が含まれる)

1. 総着信件数 808件 (1ヵ月平均 67件)  
 通話 379件 (1ヶ月平均 32件)  
 総通話時間 133時間  
 1ヶ月平均約11時間 平均通話時間 約21分

会話成立のうち約半数が15分以上の電話になっています。

着信内訳	件数
会話成立	379
不成立・無言	429
総着信	808

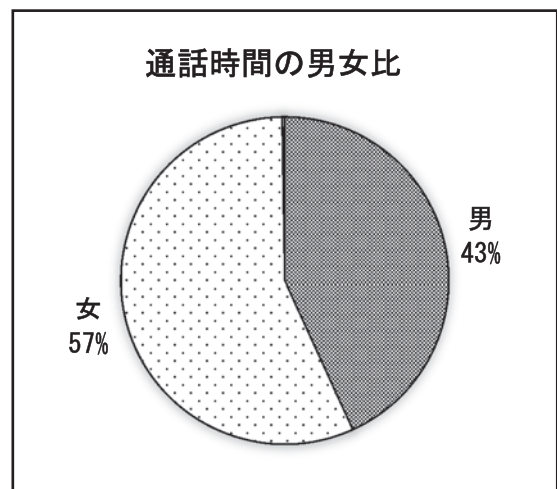
通話時間	件数
1分～15分未満	179
15分～30分未満	107
30分～45分未満	57
45分～60分未満	19
60分以上	17
合計	379

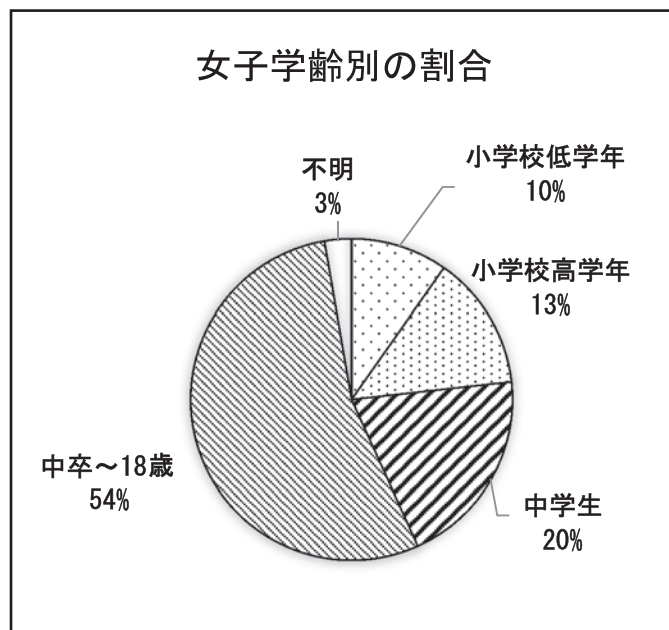
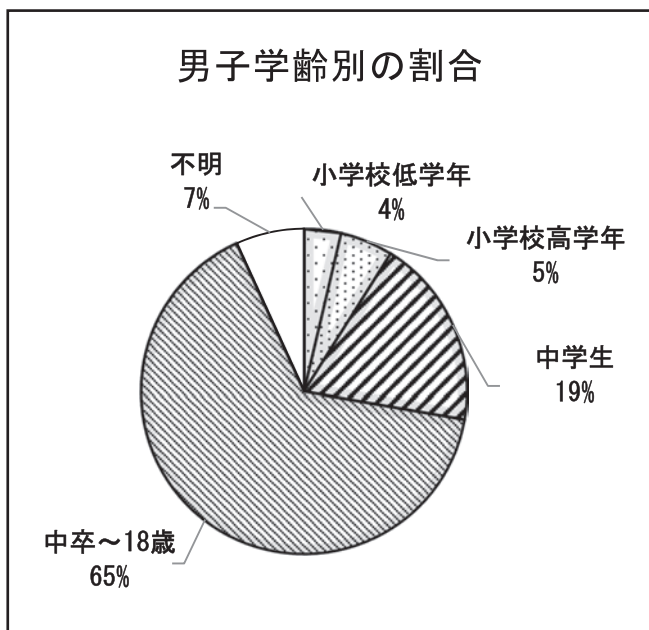


2. かけてきた子どもの学齢と男女比(栃木県の子ども)

1件あたりの通話時間は男子が約18分、女子が24分と女子のほうが長く話されています。かけてきた子どもの年齢では、男女ともに中学卒業～18歳の電話が多いようです。

性別	通話件数	通話時間(分)	1件あたりの通話時間(分)
男	191	3,457	18
女	185	4,525	24
不明	3	21	7
合計	379	8,003	21

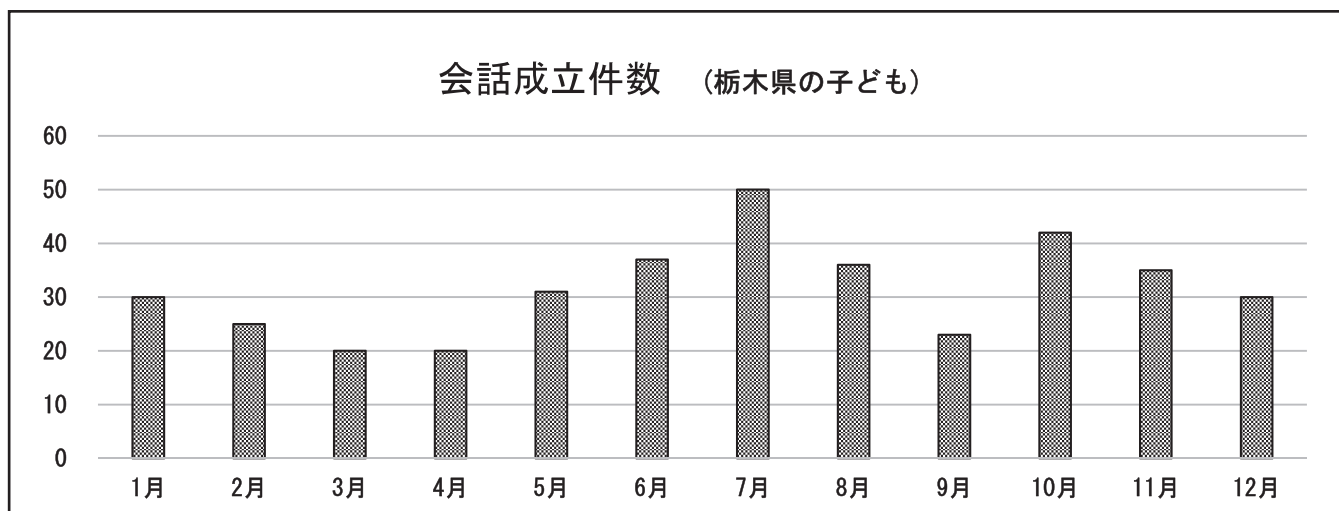




### 3. 月別件数と通話時間の推移

栃木県の子どもたちにフリーダイヤルの番号を知らせるカードの配布は、県内一斉に配ると電話が集中してかかりにくくなることが予想されます。必要な子どもからの電話が一本でも多く着信できるよう、県内市町ごとにローテーションを組んで一年間を通して、カード配布の広報を行っています。2020年は7月に県内の高等学校に一斉配布を行ったために電話が増えた可能性が考えられます。

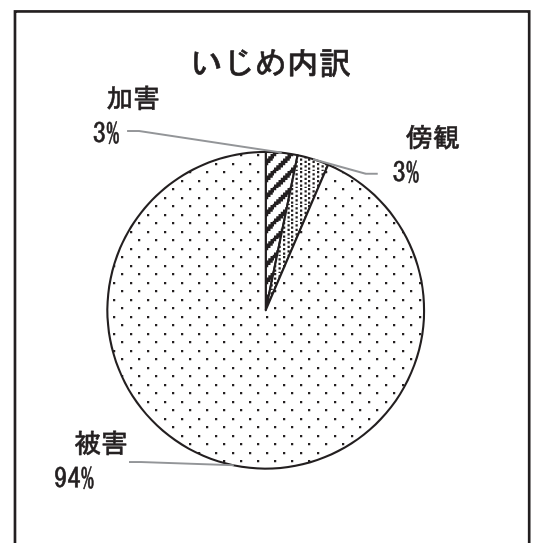
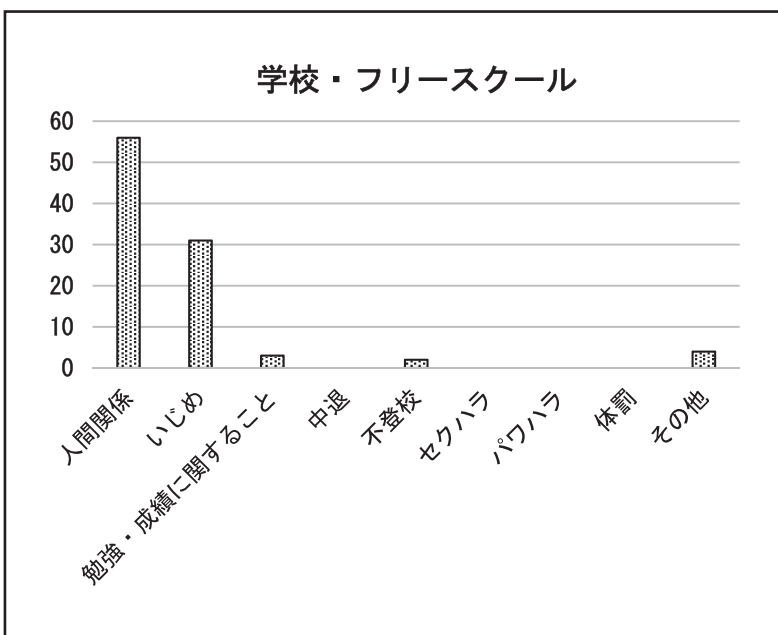
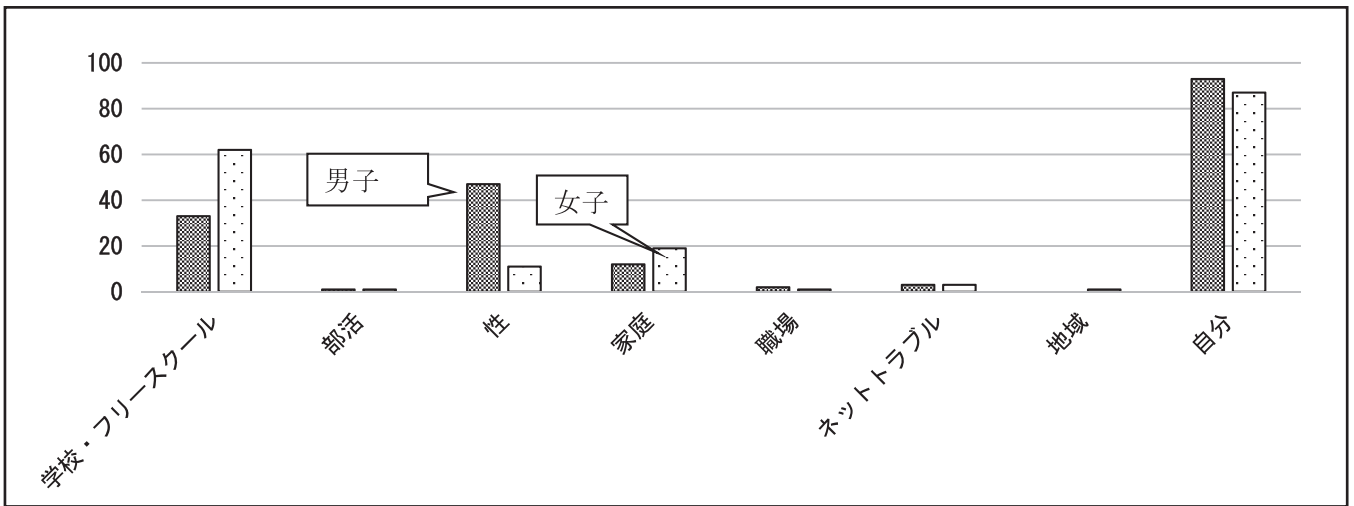
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
会話成立	30	25	20	20	31	37	50	36	23	42	35	30	379
無言不成立	52	35	34	23	15	44	38	29	21	44	55	39	429
総着信	82	60	54	43	46	81	88	65	44	86	90	69	808
通話時間(分)	358	549	531	400	637	847	1,095	780	406	1,006	749	645	8,003

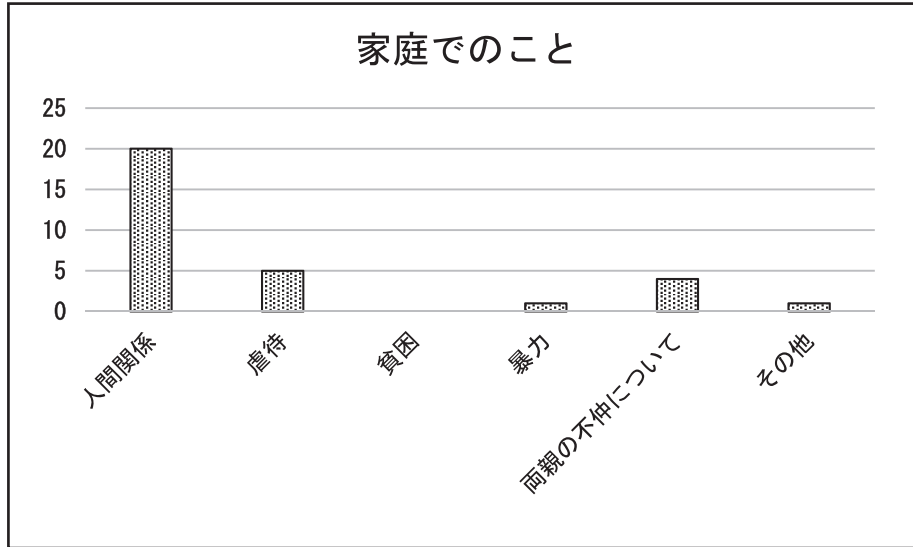


#### 4.どんな内容の電話か(栃木県の子ども)

男女ともに「学校でのこと」「自分のこと」が多く話されています。男子は「性に関すること」も多く話されています。学校・部活・家庭と場面はちがっても話の内容は人間関係についてが多くなっています。

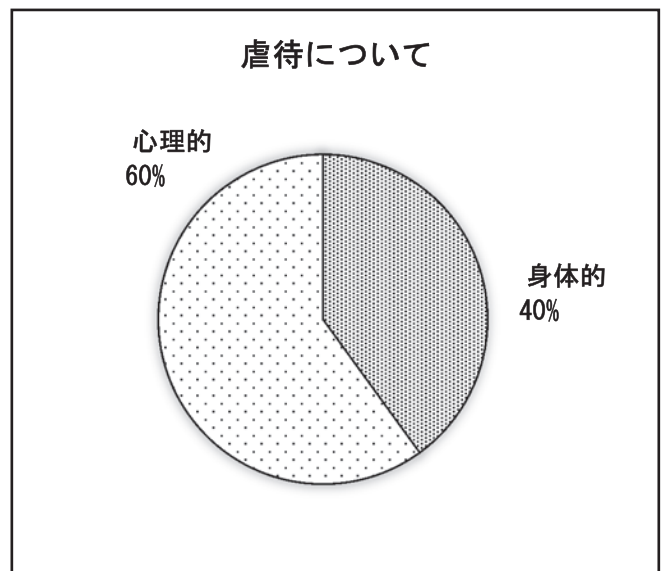
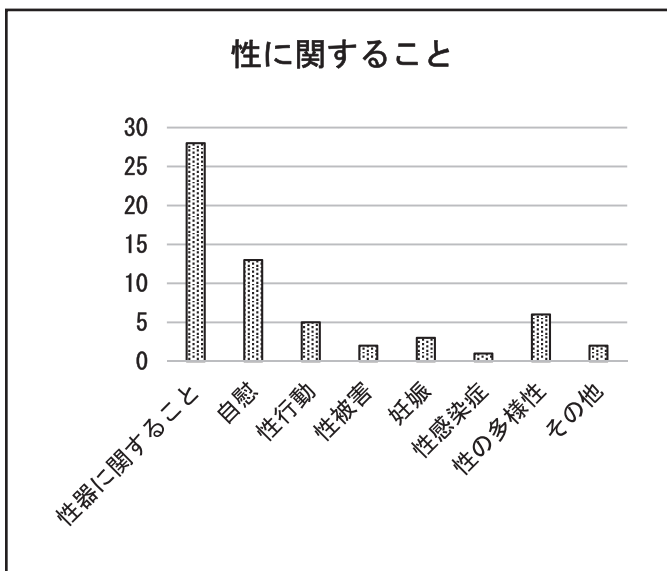
主訴 性別	学校 フリースクール	部活	性	家庭	職場	ネットトラブル	地域	自分	合計
男	33	1	47	12	2	3	0	93	191
女	62	1	11	19	1	3	1	87	185
不明	1	0	2	0	0	0	0	0	3
合計	96	2	60	31	3	6	1	180	379



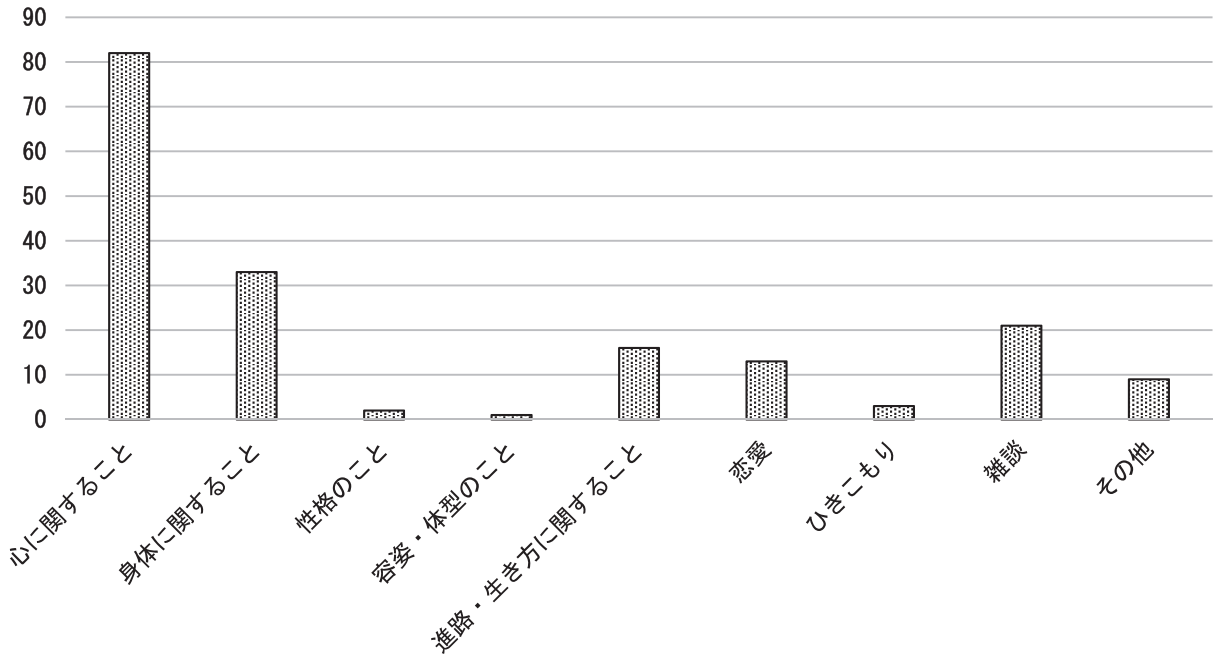


性に関しては男子が女子の約4倍の相談件数になっています。しかし、全国の電話をチャイルドラインとちぎが受けた件数では、性の相談に関しては男女比に差がないという違いがあります。特に「性器に関すること」「自慰」が突出して多いということは、リピーター若しくは妨害電話であった可能性もあります。

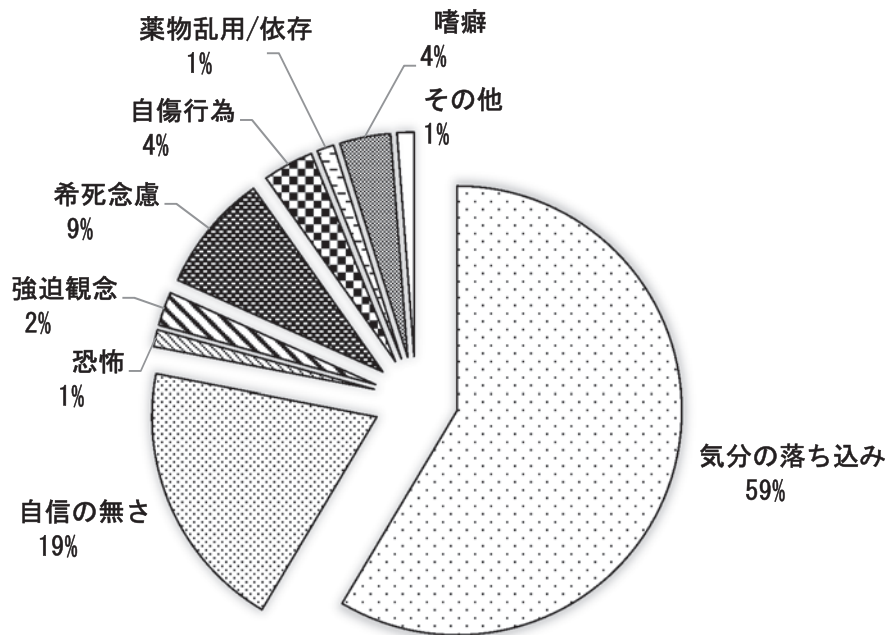
「性の多様性」については、自分の性の違和感を率直に発する人が増えていると感じます。虐待の件数は少ないとはいえ、件数では測れない重大な問題を含んでいます。



### 自分のこと



### 心に関すること



# IV

## 子どもの声から

※プライバシーに配慮して内容は再構成しています。

いまだに収束のみえないコロナ禍。家庭や学校など、全体を通してその影響は大きく、チャイルドラインにも多くの子どもたちの声が届いています。

「家庭との関係」にあっては、両親の不仲を訴える声、虐待が疑われる子どもたちの声が気になります。自粛期間が長く続き誰もがストレスを抱える中、家族と一緒にいる時間が長くなったことも原因の一つではないでしょうか。「SNS」のトラブルの相談も増えています。

「心に関すること」では孤独感や無気力から自傷行為や希死念慮を告白する子どもたちもいます。

※プライバシーに配慮して内容は再構成しています。

### 新型コロナウイルスで我慢の限界

- ・コロナの影響で勉強が先延ばしになっている。
- ・暑くて疲れた。学校もソーシャルディスタンスとかで疲れる。
- ・友達が欲しい。コロナで休みになって新しいクラスの友達ができない。
- ・ようやく夏休みになったけど、帰省できないし休みは2週間しかない。
- ・リモートで授業を受けているが結構さぼってしまっている。ヤバイ。
- ・コロナが始まってから、お母さんの仕事がなくなって家賃が払えない。
- ・吹奏学部だが、コロナの影響で発表の場がない。
- ・母は看護師。クラスの男子から「コロナが来た」と言われた。母には心配するから言えない。
- ・コロナと夏休みで、学校が再開したけど動悸がして電車に乗れなくなった。
- ・コロナが不安。テレビを見て怖くて気になる。
- ・お姉ちゃんは大学生だがオンライン授業で家にいて、いろいろむかつくしうざい。

### 家族との関係

- ・ママのイライラはどうしたら良くなりますか。
- ・お母さんは怒るとすごい。ずっと怒っていて「怒り」が収まるまで待っている。
- ・両親がいつもケンカをしている。その時は音楽を聴いて聞こえないようにしている。
- ・一生懸命勉強したのに「お姉ちゃんはもっとできた」と言われた。自分のことを認めてほしい。
- ・母は障害があり、妹の面倒や家事は自分がしている。
- ・父親が仕事を辞めてずっと家にいる。お母さんは仕事と家事でかわいそう。

### 虐待

- ・ママに置いて行かれた。一人で寂しいしお腹がすいている。
- ・父が暴力をふるう。一晩中玄関で正座させられたりしている。
- ・父親にたたかれる。家出しようと思った。
- ・両親のケンカも殴り合いや言い合いですごい。
- ・お父さんが布団の中に入ってくる。お母さんは知っているのに何も言わない。



※プライバシーに配慮して内容は再構成しています。

### 心に関すること

- ・もう生きていく方法がわからなくなってしまった。
- ・死にたい。なぜみんなが笑えるのかわからない。
- ・残っている傷跡を見たら切りたくなくて、またリストカットをしてしまった。
- ・いじめにあい辛い思いをたくさんした。悩みがあるとき、頼れる人が周りにいない。
- ・地震がトラウマになっている。地震がくると、怖さをおさえきれない。

### 学校に関すること

- ・保健室登校をしている。どうしたら教室に入れるのだろう。
- ・学年主任が、連帯責任とうるさく理不尽なことが多い。
- ・友だちにいじられてしまう。冗談に受け取れなくて辛い。元気なふりをしているけど辛い。
- ・スクールカーストで自分は上のほうだけど、友だちは自分のことを思ってくれていないと気付いた。
- ・オリエンテーションの時、オンラインでは話せていたのに、周りが怖くて下ばかり見ていた。

### さまざまな性

- ・僕って言うけど、体は女。親は理解してくれない。
- ・自分は性同一性障害。高校に男子用の制服を認めてもらいたい。
- ・同性を好きになってしまう自分がある。LGBTなのかな。
- ・友だちから性同一性障害と告白された。本心を見せてくれてうれしい。

### SNS

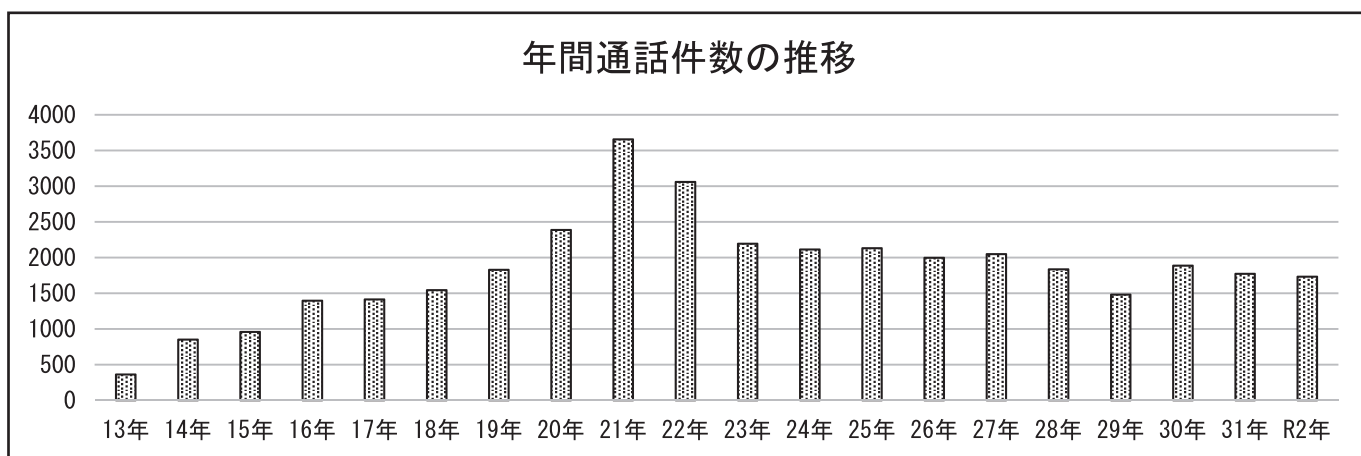
- ・ネットで知り合った人に、裸の写真を送ってほしいと言われた。
- ・SNSで性的な話をしてしまった。拡散されたらどうしよう。
- ・自分はネットストーカー。なりすましアバターとしてかかわっている。
- ・マッチングアプリで彼氏を作ろうと思う。友だちは危険と言うけど、ルールを守ればいいんじゃないかな。
- ・SNSで告白したら、相手にブロックされてしまった。

## チャイルドラインとちぎのこれまで

- 2001年(平成13年)5月5日開設(毎週金曜日の15:00～23:00)
- 2002年(平成14年)5月から毎週月曜日・金曜日の週2回の開設になり終了時間の変更(～:21:00)
- 2006年(平成18年)4月から金曜日のみフリーダイヤルになる。
- 2007年(平成19年)5月から全回線フリーダイヤルになる。
- 2008年(平成20年)11月から全国統一フリーダイヤルで以後全国の子どもからの電話を受ける。
- 2009年(平成21年)5月から毎月第2日曜日を開設。開設時間の変更(16:00～21:00)
- 2010年(平成22年)チャイルドラインとちぎ設立10周年記念事業
- 2013年(平成25年)1月8日 認定NPO法人として認定(県文第236-1号)
- 2013年(平成25年)1月から第2・第4日曜日を16時から18時30分に開設時間を変更する。
- 2014年(平成26年)4月から月曜日・金曜日の開設に加えて第2日曜日と第3土曜日を開設する。
- 2015年(平成27年)3月から第2・第4金曜日は23時まで開設時間を延長 ※2019年3月まで
- 2018年(平成30年)8月から月に1回木曜日にオンラインチャットで子どもの声を受ける
- 2019年(平成31年令和元年)5月から月に2回(第1・第2木曜日)にオンラインチャットを開設する。
- 2021年(令和3年)チャイルドラインとちぎ設立20周年記念誌を発行する。

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
通話	362	851	958	1,396	1,413	1,544	1,828	2,387	3,655	3,059
無言・他	141	831	1,204	1,207	1,452	2,027	2,628	3,627	4,808	4,875
計	503	1,682	2,162	2,603	2,865	3,571	4,456	6,014	8,463	7934
通話時間	112	245	225	330	298	326	453	579	919	819

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	R2年
通話	2,194	2,113	2,130	1,997	2,049	1,834	1,480	1,886	1,771	1,732
無言・他	4,620	5,235	5,897	7,383	7,522	8,014	5,764	4,857	4,246	4,704
計	6,814	7,348	8,027	9,380	9,571	9,848	7,244	6,743	6,017	6,436
通話時間	709	660	728	616	635	778	421	600	584	607



## 2020年 チャイルドラインとちぎの活動から

### ① 会員数

〈正会員〉 57人

〈支援会員〉

個人 66人

団体 16団体

② 理事 15名 ・ ・ ・ ・ 理事長：1名 副理事長：2名 監事：3名

### ③ 2020年度決算

収入 1,965,702円

〈主な内訳〉

会費	171,000円	(9%)
支援会費(寄付)	1,044,700円	(53%)
補助金・助成金	750,000円	(38%)
事業収入	0円	(0%)
その他	2円	(0%)

支出 2,128,984円

〈主な内訳〉

事業費	1,855,643円	(87%)
子どもの声を聴く事業	1,360,155円	
啓発事業	495,488円	
管理費	273,341円	(13%)
※ 人件費	601,812円	(28%)



2021年チャイルドラインとちぎ年次報告

2021年6月発行

発行者 特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ

〒320-0837 栃木県宇都宮市弥生 1-6-3

Tel 028-614-3253

E-mail [info@cltochigi.org](mailto:info@cltochigi.org) URL://[cltochigi.org](http://cltochigi.org)